

2021年10月5日開催 裾野市の「これからのまちづくり」説明会事前質問に対する回答

※WPH: ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社の略

No.	宛先	分類	質問内容	市の回答	WPHの回答
1	市 WPH	岩波駅周辺整備	岩波駅周辺整備の構想を教えてください。	人口減少時代のまちづくりでは、生活に必要な機能やサービスを駅周辺等の拠点に集約する「コンパクトシティ」という考え方があります。裾野市のコンパクトシティ化を図るための計画として、市では平成30年度に「立地適正化計画」を策定しました。裾野市の立地適正化計画では、JR裾野駅とJR岩波駅を2拠点と位置づけ、これらの拠点の周辺に、医療・福祉施設や商業施設などの「誘導施設」や住居がまとまって立地するよう誘導し、持続可能なまちづくりを目指しています。JR裾野駅周辺については、現在、「裾野駅西土地地区画整理事業」を実施中です。JR岩波駅については、上りプラットフォームや駅舎、エレベーターの新設等の工事が令和2年度で完了したものの、駅周辺の面的な整備については手つかずの状態でした。そのような折に、トヨタ自動車東日本株式会社の東富士工場跡地にウーブン・シティが建設されるという発表がありました。これにより、市としても千福が丘から農免道路までを東西で結ぶ道路(千福深良線)以北の市北部地域のまちづくりを新たに検討する必要が生じました。そこで、令和2年度に「裾野市北部地域まちづくり基本構想」を策定し、令和17年度までの今後15年間のまちづくりの方向性を決めました。15年の構想期間を短期、中期、長期、各5年に分け、短期5年の重点的な取組として「JR岩波駅周辺整備」を位置づけました。令和3年度は、この基本構想をより具体的に推進するため、「基本計画」を策定することとし、計画の素案を作成するため、現在、岩波区の住民や周辺企業とともにまちづくりワークショップにより議論を重ねているところです。基本計画を策定することにより、今後、どの範囲でどのような整備を進めていく考えなのかお示しすることができるようになります。	ウーブン・シティでは、地域住民の皆様・裾野市と一緒に街づくりを進め、周辺地域の発展にも貢献していきたいと考えています。岩波駅周辺が、ウーブン・シティと裾野市など周辺自治体とつながる結節点になるよう、トヨタは企業版ふるさと納税を活用して、裾野市が推進する岩波駅周辺整備事業を全面的に支援して参ります。さらに、e-Paletteなどの新たなモビリティサービスを市民の皆様にも体験いただくなど、移動をはじめとする地域の課題解決の貢献にも取り組んでいきたいと思ひます。裾野市が主催している岩波駅周辺整備のワークショップにも第1回から参加させていただいており、引き続き、岩波駅やその周辺地域が交流の拠点として発展するよう、裾野市や市民の皆様と共に取り組んでいきたいと思ひます。
2	WPH	ウーブン・シティ	ウーブン・シティの進捗状況を教えてください。	—	現在は造成工事を行っており、2022年より建築工事を開始、2024年～2025年まで工事を行い、その後Phase1と呼んでいる最初のエリアをオープンする予定です。その他、今まで公表させていただいた内容はウーブン・シティのWebsiteにまとめられておりますので、是非ご覧頂ければと思ひます。 Website: https://www.woven-city.global/jpn トヨタはゼロから裾野の地で事業を行うのではなく、東富士研究所やトヨタ自動車東日本の東富士工場がそうしてきたように、地域に根差した良き企業市民でいたいと思っております。ウーブン・シティは「街」であると同時に、私有地・自己資本で様々な技術の実証実験を行うモビリティカンパニーとしての「テストコース」でもあります。車両のテストコースと同様に、街の開発に関わる内容は多くの関係者がいらっしゃるから、不確定な状態のままではお伝え出来ないことも多くございます。皆さまがワクワクできるような情報は、決まり次第、随時お伝えしていきたいと思っておりますので、楽しみにお待ちしております。
3	市 WPH	ウーブン・シティ周辺の懸念事項	ウーブン・シティができることによって、治安の悪化や交通渋滞など平穏な暮らしが脅かされるのではないかと懸念しています。	ウーブン・シティと地域との融合は、市としても重要な課題と認識しています。ウーブン・シティができることにより、世界中からウーブン・シティの視察に来る人が想定されますので、ウーブン・プラネット・ホールディングスと連携を密にするとともに、国、県、警察等の関係機関とも調整を図りながら、地域の治安の維持や交通渋滞の緩和に向けて取り組んでまいります。	裾野市に根ざす良き企業市民として、地域と共に発展するウーブン・シティを目指します。治安の悪化や渋滞の懸念に関しては、今後とも地域行政や警察からの求めに応じるべく、出来る限りのことをしていきたいと思ひます。

2021年10月5日開催 裾野市の「これからのまちづくり」説明会事前質問に対する回答

※WPH: ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社の略

No.	宛先	分類	質問内容	市の回答	WPHの回答
4	市 WPH	ウーブン・シティ外	ウーブン・シティと市のまちづくりをどのようにつなげようとしているのか。	ウーブン・シティは世界が注目するスマートシティになると思います。裾野市は令和3年1月に策定した「第5次裾野市総合計画」において、令和12年度のまちの将来像を「みんなが誇る豊かな田園未来都市すその」としました。また、令和2年3月に発表した「スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想」(略して「SDCC構想」)では、データやデジタル技術を活用し、クリエイティブ・マインドをもってあらゆる地域課題を解決するスマートシティを目指すこととしています。ウーブン・シティとSDCCという、市内に「双子のスマートシティ(未来都市)」ができることを目指しています。「田園」の観点では、裾野市には豊かな自然がありますので、ウーブン・シティで暮らす人にとっても豊かさを感じられる地域だと自負しています。既にあるものに磨きをかけ、ウーブン・シティに住む人やウーブン・シティを訪れる人と、交流の機会を設けることにより、お互いを高め合っていきたいと考えています。	トヨタ自動車の東富士研究所やトヨタ自動車東日本の東富士工場は、この裾野の地で皆さまとの絆を育んでまいりました。ウーブン・シティも、ゼロから新しい街を作るのではなく、こうした地域の皆さまとの関係を引き継ぎ、裾野市と共に発展していくことを目指しております。10月の「これからのまちづくり説明会」でも言及のあった、企業版ふるさと納税を活用した岩波駅周辺整備事業の支援もその一つです。また、引き続き行政と協力しながら、ウーブン・シティの内部で実証されたサービス・技術を、裾野の土地で実装・普及していくことで、地域の困りごとや課題を解決のお手伝いをしていければと思います。
5	市	ウーブン・シティと裾野市の関係	ウーブン・シティに住む人と裾野市民との違いはあるのか。	短期的な滞在は別として、ウーブン・シティに居住する人については、住民登録が裾野市になるかと思っておりますので、そういう点では他の裾野市民との違いはないと考えます。	—
6	市	ウーブン・シティと裾野市の関係	雇用創出は期待できるのか。	ウーブン・シティを契機として裾野市を含む周辺市町に進出する企業を誘致することなどにより、新たな雇用を創出していきたいと考えています。	—
7	市	ウーブン・シティ内	ウーブン・シティの開発に対して、なぜ市の財政を使って行うのか。	ウーブン・シティの建設はトヨタ自動車株式会社の私有地で自己資金を使って行われるものであるため、市費を投じて建設が行われるわけではありません。	—
8	市	ウーブン・シティ内外のつながり	ウーブン・シティと運動公園などの外のエリアとのネットワーク作りの可能性はあるか。	ウーブン・シティを訪れた人に富士山麓の豊かな自然も堪能してもらうことこそが、裾野市が掲げる田園未来都市の醍醐味だと認識しています。そのため、ウーブン・シティの外にある、裾野市が誇る地域資源とうまく連携することにより、裾野市の魅力の向上を目指していきたいと考えています。	—
9	市	ウーブン・シティ内外のつながり	ウーブン・シティの「スーパークリエイティブコア層」と地元との関りはあるのか。また、地元が受け入れのために多様性・寛容性を涵養するためには何が重要か。	SDCC構想ではまさに、ウーブン・シティで働く「クリエイティブクラス」と地域住民や裾野市に関りを持つ人などが交流することにより、クリエイティブマインドを持つ人の輪がどんどん大きくなることを狙っています。そのための寛容性を養うためには、価値観や文化が違って、お互いを認め合うことが必要だと考えています。そのためにもコミュニケーションは欠かせないと考えます。	—

2021年10月5日開催 裾野市の「これからのまちづくり」説明会事前質問に対する回答

※WPH: ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社の略

No.	宛先	分類	質問内容	市の回答	WPHの回答
10	市	カーボンニュートラル	カーボンニュートラルに向けた具体的な取組を知りたい。	カーボンニュートラルの実現に向けては、行政だけでなく、市民、事業者、滞在者等がそれぞれできることを考え、実行する必要があります。昨年度策定した環境基本計画においても、2050年に向けたカーボンニュートラルを目指すものとしております。具体的な取組として、「再生可能エネルギーの積極的な導入・活用」、「公共施設、工場、オフィス、家庭における省エネルギーの推進」、「公共交通機関の利用促進や自転車などによる移動の促進」、「先進環境対応車などの導入促進」、「集約したまちの形成によるエネルギーの効率的な利用」、「緑地の保全や緑化活動の支援」、「ごみの減量、資源の有効利用の推進」などが挙げられます。これら総合的な地球温暖化対策を実行することにより、カーボンニュートラルの実現を目指してまいります。	—
11	市	カーボンニュートラル	カーボンニュートラルシティについての具体的な指標を設けるのか。	2050年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを目指すことは決まっていますが、現時点では、さらなる具体的な指標を設定するか否かは決まっていません。	—
12	市	カーボンニュートラル	カーボンニュートラルに向けて、今後どのように周辺地域や国・県に働きかけしていくのか。	周辺でも裾野市同様、「カーボンニュートラルシティ宣言」(「ゼロカーボンシティ宣言」)を行っている自治体がありますので、協調して実施することにより施策効果が高まるものについては、広域連携による取組を検討するとともに、必要に応じて国・県に対して要望活動を行ってまいります。	—
13	市 WPH	カーボンニュートラル	水素の施設を作るなど、具体的な計画はあるか。	現時点では、市として水素の施設を作る計画はありません。	令和3年5月にトヨタ自動車とENEOSが水素の利活用について具体的な検討を進めることに基本合意しており、その一環として、ウーブン・シティ近隣での水素ステーションの建設・運営が予定されていますが、詳細の時期や場所については(2021年11月時点では)まだ決まっていません。
14	市	交通弱者支援	岩波駅周辺整備ではなく、交通弱者への支援をしてほしい。	現在、SDCC構想の中でも交通弱者に対してどのような打ち手を行うのが相応しいのか検討しています。ある程度、議論が深まった段階で経過報告したいと考えています。	—
15	市	子どもたちへの教育	市は子どもたちの教育に力を入れるべきではないか。	令和3年1月に策定した「第5次裾野市総合計画」では、「次代を担う子どもの教育の推進」を掲げ、ありがたい姿を「多様な人々と関わりながら主体的に考え、未来を切り拓く児童生徒が育っています」としています。この「ありがたい姿」に向かって、地域とのより密接な関係、ICT環境の整備、英語をはじめとした多様な言語や考え方に会えるようにすること、教員の資質向上と時代に即した学校環境の整備等を推進し、学習の質の向上に努めてまいります。	—
16	市	市のこれからのまちづくり	裾野市のIT化について、何か考えている案はあるか。	SDCC構想の中でも「スマート自治体の推進」を取組の方向性として位置付けておりますので、行政手続きのデジタル化についても進めてまいります。国ではデジタル庁を設置しましたので、国の動向にも注視してまいります。	—

2021年10月5日開催 裾野市の「これからのまちづくり」説明会事前質問に対する回答

※WPH: ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社の略

No.	宛先	分類	質問内容	市の回答	WPHの回答
17	市	市のこれからのまちづくり	ウーブン・シティに見合うまちづくりの考えはあるか。	裾野市では、Society5.0やウーブン・シティといった新たな時代の流れを力にするため、令和2年3月に市独自の次世代型近未来都市構想となる「スノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想」(略して「SDCC構想」)を発表しました。「デジタル」と「クリエイティブ」の2つをキーワードに、あらゆる地域課題を解決する次世代型近未来都市を目指すものです。	—
18	市	市のこれからのまちづくり	市はこれから一番何がしたいのか。	財政調整基金の取り崩しに頼ることのない行財政運営ができるよう、実質単年度収支の黒字化に向けて行財政構造改革を推進してまいります。同時に、市民の皆様の幸せを第一に事業を進めてまいります。	—
19	市	市のこれからのまちづくり	財政が苦しい中、どのように新しい取組を進めていくのか。	市の財政規模に合わせた財政支出とするために、行財政構造改革を実施しています。改革が達成されれば、身の丈に合った事業を進めることができます。それまでの間、民間活力の導入や企業版ふるさと納税の活用等により、投資効果が見込まれる新たな取組を検討・実施してまいります。	—
20	市	市のこれからのまちづくり	自動運転などの技術で市内を循環運転できないか。	現在は法制度の問題もあり、完全自動運転の車両の運行は認められておりませんが、将来的に法律面、技術面、コスト面で折り合いが付くようになれば、自動運転車両が市内を循環するといったことも現実になるかもしれません。そのためにも、絶えず最新の動向を捉え、必要に応じて実証実験を行うなど、将来に備えていきたいと考えます。	—
21	市	市のこれからのまちづくり	是非ともクリエイティブ・シティになってほしいが、シリコンバレーみたいになる勝算はあるか。	市としても、良い意味での「田舎らしさ」に磨きをかけ、デジタル・クリエイティブな都市を目指しておりますので、是非、一緒により良いまちづくりを実行しましょう。	—
22	市	市のこれからのまちづくり	「田園未来都市」について説明してほしい。	「田園未来都市」は平成27年度に策定した「裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のキャッチコピーです。富士山の裾野に広がる豊かな自然のもと、地域に誇りを持つ市民や地域経済をけん引する企業等とともに、未来志向で協働・連携し、快適で安全・安心なまちづくり、人や企業に選ばれるまちづくり、住み続けたいまちづくりを進めることにより、裾野市らしい「田園」と「未来都市」が令(うるわ)しく調和する「みんなが誇る豊かな田園未来都市すその」を目指すものです。	—
23	市	周辺自治体との連携	ウーブン・シティをコアとして、周辺自治体との連携についての構想があれば教えてほしい。	ウーブン・シティは裾野市のみならず、静岡県東部地域や静岡県、さらに日本全体に影響を及ぼすぐらいの一大プロジェクトだと認識しています。ウーブン・シティが建設されることにより、市外、県外、海外から多くの方が裾野市を訪れることが想定されます。ウーブン・シティが新たなハブとなり、周辺自治体との相乗効果が生まれるよう、アクセス面や観光面も含め、周辺地域と共に活性化できるような仕掛けを検討していきたいと考えます。	—

2021年10月5日開催 裾野市の「これからのまちづくり」説明会事前質問に対する回答

※WPH:ウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社の略

No.	宛先	分類	質問内容	市の回答	WPHの回答
24	市	新駅構想	岩波駅と裾野駅の間に駅ができる予定の話はどうなったのか。	今後の裾野市のまちづくりの方針を決める「都市計画マスタープラン」において、新駅(構想)を含む当該地域の計画を位置付けております。住民主導によるまちづくりを目指しており、引き続き、深良地域のまちづくりについて住民の皆様との議論・サポートを行ってまいります。	—
25	市	スマートシティ	ほかのスマートシティでモデルとしているところはあるか。	裾野市よりもスマートシティの取組が進んでいる自治体は全国に多くありますので、先行自治体の成功事例や失敗事例を参考に、SDCC構想を具現化することにより、裾野市らしさを活かしたスマートシティを目指してまいります。	—